



Alcoholics Anonymous

No.127

AA 日本ニューズレター

NPO 法人 AA 日本ゼネラルサービスオフィス (JSO)

AA 日本常任理事会主催

第5回 AA 日本広報 & 病院施設フォーラムが終わって思うこと

昨年九州・沖縄地域で、第5回 JSO 常任理事会主催の AA 日本広報 & 病院施設フォーラムが開催されると聞き、大分ですか、しないかを地区で議論したのを覚えております。当時の私は反対でした。メンバーが少ないのと全国規模のフォーラムに一抹の不安を感じていました。年明けに大分での開催が知らされ驚きでした。

そんな中で第1回目の地域実行委員会が3月の25日に熊本で開催され地域の実行委員長と地元の小実行委員長が決まり、私は会計係りにさせていただきました。その時自分は地区での広報担当だったものですから、何から何まで不安で、感情が安定せずじただ、只、ハイパーパワーに委ねるのみでした。

地区と地域の話し合いがなかなか旨くできずに、温度差が生じてきたのも事実でした。

そんなとき、6月に入って地域の実行委員の皆様が会場の下見に訪れ何から何までお世話を頂き、地域の実行委員皆様の力で全ての骨組みができ会場のレイアウトができました。そのときはなぜ自分たちを抜きにして下見に行ったかと、感情的になっていましたが、開催日が近づくにつれ本当に有難く思えるようになり、全てのお陰様のお力に感動すると同時に、心から感謝の気持ちが湧き上がりました。

それから、自分は感じ方が変わった気持ちがします。開催の趣旨説明のようにまだ、AAが充分に知られてない地域で日頃アルコールと係わっていらっしゃる一般社会のより多くの皆様にAAの回復のプログラムが届くために自分たちにできることから始めようと思いました。

いつ頃までに、どんなことを、どの様に、アプローチしていけば良いのか、経験のある仲間に相談しながら

ら2~3名で行動することになりました。

まずは広報のリストの作成から、県の精神保健福祉センターを訪ねてみることにしました。そこで県下の精神病院一覧、診療所一覧、県民保健福祉一覧、保健所一覧、市町村社会協議会一覧、福祉事務所一覧、社会復帰施設一覧表をいただくことができました。リストの中から122箇所以案内の資料を送付させていただきました。次に日頃関係あるメッセージ先に出向き直接担当者に参加の依頼をお願いしました。

7月に入りメディア関係にどうアプローチを行うか話し合いました。メディア関係を3回に分けて行うことになり、最初にラジオ局、次に新聞社、最後にテレビ局で、男性のメンバー2名に女性のメンバー1名でスタートしました。

最初にAAとは何であるかを話した後にイベントの資料を基に取材を依頼いたしました。今回はJSO常任理事会が主催と言う事でメンバーの熱のこもったメディアへの働きかけだったような感じがしました。そして何よりも女性のメンバーが参加できたのが相手に大きなインパクトを与えたようでした。

各社とも非常によき理解を得ることができ、取材のお約束までいただきました。そのような経緯の中、地元のテレビ局 (株)TOS テレビ大分さんより一報が入り取材したいので協力してほしいとのTELがフォーラムの4日前にありました。

前もって会場の取材をしたいとのことでしたので、教会のグレーグループを紹介しました。メンバーに協力を求めたところ14名の方が参加されて取材に協力させていただくことができました。そのときの放映が次の日の午後6:30より約10分間あり、最後にイベントの案内を流して頂くことができました。ただ残

念なことに当日の取材は一社も来なかったということです。

最終的にFAXで再度のお願いをすべきでした。どこのメディア各社も来てくれるとお約束を頂いていたものですから、最後の詰めが足りなかったのがきていただけなかった大きな要因だった気がします。

当日は何名位の参加があるだろうかとメンバーは心配でしたが、お陰様にて医療関係者73名、福祉行政関係者7名、学校関係者2名、家族13名、メンバー94名、他のアディクション関係者8名合計197名の参加をしていただくことができました。今回のフォーラムを通じて本当に感謝することの大切さが身に沁みて分かりました。

今までの自分は人から愛を受けても愛を与えることができませんでした。これから先はメッセージを通じて多くの人に愛を与えていこうと思いました。その為には行動が伴わなければなりません、愛と感謝を行動で示していこうと肝に銘じた次第です。(無償で頂いた愛は無償にてお返しする義務がある)ことも分かり、自分にとってはいろいろな面で大きな成果があり、有意義なフォーラムでした。

参加された皆様本当にお疲れ様でした。

AA九州・沖縄地域 大分地区 わさだG ゆう

サービスに係わって

サービスの喜び

「サービスの喜び」と聞いて思い出すのは、『12のステップと12の伝統』にある『『独り者』たちは、多くのAAの仲間と囲まれ、もはや孤独ではない.....そういったメンバーが驚異的なサービス活動をして、大きな喜びに報われているのを私たちは毎日のように目にしている』(p158-159)という文章です。

僕がAAにつながったのは、今から約14年6か月前、28歳の時でした。

アルコール病棟に入院して初めてアルコール依存症という病気を知り、父もアルコール依存症で、自分も同じ病気になってAAにつながり、1年のパースデーを迎えるときには、滋賀にびわこグループを立ち上げた仲間の中の一人でした。最初のスポンサーの提案で、関係機関の所在地図を作り、関係機関を回ってAAの資料等を配りました。そのとき、行く病院、行く病院に父の思い出があり、僕が15歳から20歳まで、父はいろいろな病院に入退院を繰り返しており最後に自殺したのですが、その理由がはじめて分かりました。

本を読むことが苦手でしたが、ピックアップと12&12を毎日読むこと、毎日ミーティングに行くことから

始めました。ミーティング・ハンドブックの読めない漢字は、辞書で調べて、ルビを書き入れました。

大きな喜びに報われると信じて地域委員会に参加し始めたのですが、中学卒業なので、いろんな係りがあったのですが僕には到底無理と最初から諦めて、じっと黙って聞くばかりでしたが、ビル・WによるサービスというAAのレガシーの文中に「一杯のコーヒーもサービス」と書かれており、給湯係りなら僕にもできるので、最初の2年間は集会やイベントの給湯係専門で参加していました。

2年を過ぎた頃から何でもいいので最初から諦めずにやってみようということで、地域財務をさせてもらい、同時に簿記やパソコンの勉強もしました。その後、文書係をさせてもらい、前期・後期の集会報告書は、仲間と泊り込みでテープおこしをして作成したり、その2年後評議員になりませんかと声をかけて貰い、1か月ほど考えて、立候補を決意しました。やる前から嫌がっているは何も始まらないので、「やるだけやって大恥かけばそれでいい」くらいの気持ちと、「無力の人間なら恥ずかしいとか嫌とか言っている場合ではない。やるだけのことはやってみよう」でした。

評議員での役割は病院施設担当ということで、関西でパブリックミーティングを開催した時は、先行く仲間の協力で関西地域にあるアルコール専門病院を一軒ずつ参加協力をお願いに回り、盛況のうちに終わり、今も積極的な協力関係が継続しているようです。

評議員退任後、関西コンベンション実行委員長、第1回AA日本広報フォーラムイン滋賀、評議会憲章案作成の委員、『BOX-916』編集委員をさせてもらい、現在、AA滋賀事務局を担当しています。来年は評議会へ評議員代理として参加させて貰うことも決まりました。

サービスに関わる時の基本姿勢として、「させてくださいという気持ち」と「教えてくださいという学が姿勢」が大切だと教わりました。AAのマークにはAAに正三角形に ですが、三つの遺産(レガシー)回復・一体性・サービスの三角形の長さはみんな同じ長さに保つことによってソブラエティが保たれていくとも聞きました。そのことは今も大事にしています。

今年、AA滋賀のOSMが10回の記念を迎えました。第1回目のOSMの時に、入院中だったり退院したばかりだった仲間も元気に参加されておられ、また一緒にいろんなAAサービス活動に参加した仲間たちが笑顔で夕食のパーベキューを楽しんでいる姿は感動でした。そのOSMの中で、僕は14年のパースデーを迎え、みんなに祝福してもらい、うれしくて涙がとまりませんでした。14年を振り返ると、いろんなサービスに関わり続けて来た中には、たくさんの仲間の支えがありました。来年の評議会も熱気にあふれたも

のなることを楽しみにしております。

滋賀県 / 裕之

サービスに係わって

AAサービスのよろこび

謙虚と感謝を身につける旅路

専門家協力委員会

AA滋賀の「専門家協力委員会」が、年2回発行している「ニューズレター滋賀」は、2007年秋号で、17号となりました。1999年から、8年以上、定期に発行してきました。この「ニューズレター滋賀」は、A4版で28ページ、かなりのボリュームです。これを、500部印刷して、主に、県内のアルコール関連病院や諸機関など、ほぼ100か所を年2回訪問し、他の資料とともに配布しています。この年2回の関係機関訪問活動は、「春の桜広報」、「秋の紅葉広報」という呼び名でAA滋賀のグループではすっかり定着しています。

「専門家協力委員会」は、大学や専門学校等でのAA紹介や、専門家が主催する会合や学会にAAメッセージを運ぶ段取りなどをしてしていますが、この「ニューズレター滋賀」の発行も「専門家協力委員会」の担当です。その理由は、苦しんでいるアルコールの回復の手助けを医療等専門家と協力して行うためです。

ニューズレター滋賀

「ニューズレター滋賀」には、毎号、医師・心理療法師・保健師・看護師といった医療等専門家が、問題提起などの原稿を執筆し寄稿してくれています。また、AA滋賀のオープン・スピーカーズ・ミーティングなどでの専門家を囲む懇談会記録を掲載するのもこの「ニューズレター滋賀」の紙上です。一方、AAメンバーは、「いつもどんなふうだったか、そしてなにが起こって、いまどうなっているか」というそれぞれの経験を載せています。このようにして、「ニューズレター滋賀」は、AAメンバーと医療等専門家とを結ぶ通信となっています。

時空を超えるメッセージ

「ニューズレター滋賀」を配りながら、県内の医療等専門機関を回ると、「知っている医師や看護師さんが書いているので読んでみようと思う」とか、「アルコールに問題のある患者さんにAAの人の体験談を読んでもらっています」などの反響に接します。そのような声を聞くと、「活字は時間と空間を超えて届くメッセージ」だと実感し、ほんとうにうれしくなります。

書くことによって.....

自分の経験を文章にしたAAメンバーからは、「書く

ことで自分の問題点がはっきりしてきた」「酒でいかに狂っていたかがよくわかった、自分は酒に対して無力だ、書いてよかった」「仲間の文章を読んで共感し、心がいやされる思いがした」「文章を書くことは希望を見つけることだと思った」「ニューズレター滋賀という場があったから書くことができた」「自分の書いたものが苦しんでいるアルコールに届いて、酒をやめて生きて行こうと思ってくれたらいいのだけれど」等々の感想が寄せられています。「活字は時間と空間を超えて届くメッセージ」であるだけでなく、書いた本人の飲まない生き方と成長の助けともなるようです。これは、ありがたいことです。

サービスに県境はない

いま私は、一時的に静岡県に転勤してきています。

AAサービスとは、「苦しんでいるアルコールに手を差し伸べることに役立つ、原理原則に基づいたあらゆる行為・活動のこと」と、広く理解していますが、AAとAAサービスに、県境も国境もないことをありがたく思っています。必要とされ、できる範囲でAAサービスにかかわらせてもらえることで、飲まない日々が与えられ、支えられるからです。

『BOX-916』のこと

『BOX-916』は「時空を超えて届けられるメッセージ」です。関西地域担当ということで『BOX-916』の編集ボランティアを約4年間やらせていただきました。全国誌にふさわしい企画と編集体制の構築を構想し、努力もしてきましたが、願うようにはいきませんでした。それでも、読者や専門家のみなさん、執筆者や全国の仲間から、あたたかい励ましをいただきました。なかでも「苦しんでいるアルコールの手助けに役立った」という知らせほど、うれしいものはありませんでした。

AA滋賀のサービス活動や『BOX-916』の編集にかかわって学んだことは、AAサービスとは、謙虚と感謝を身につけるスピリチュアルな旅路、真のよろこびの旅路だということでした。

滋賀県 / とら

第13回全国評議会「私の責任（出逢い～手

渡すもの）」は2008年2月9日(土)～11日(月)

の間、川崎市の川崎グランドホテルで開かれます。各地域で選出された評議員、常任理事、WSM評議員、JSO職員によってAAの目的を達成すべく議論が交わされ全体サービスの方針などが決められます。AAの「ボス」はそれぞれのメンバー、グループであることはいままでもないことですが、それぞれのグループの良心を委ねられた全体サービス代議員によって選出された評議員、そしてその評議員からサービスの執行を委ねられた常任理事会構成メンバーた

ちの言動に関心を寄せることも大切な、「ボス」の責任であると思います。

自らの回復は新しくやってくる人たちの回復にかかっていること、そのために自分ができることを徹底し、そして良心を委ねてゆくことで効率的、民主的なサービスが可能になってゆくでしょう。一見自分の回復に関わりがないような話し合いが、すべてAAの正三角形の中に含まれていることを感じると、とても豊かな気持ちを持つてははずです。今、飲んでいない自分を振り返ってみると、そこに沢山の人の愛の手があったことに気づくのではないのでしょうか。ぜひ、AAの中で起きるどんなことにも関心を持って見守っていただきたいと願います。以下に簡単なプログラムスケジュールをご紹介します。

2008年2月9日

- 12:30~開会 第1回全体会議 事務局、議事委員会からの提案と確認など
- 13:40~ 第2回全体会議 事業及び決算の経過報告と承認(質疑・応答)
- 15:10~ 第3回全体会議 事業計画及び予算案の提案(質疑・応答)
- 19:00~ 第4回全体会議 審議・決定
- 20:00~ 評議員会

2008年2月10日

- 09:00~ 評議員委員会 企画、議事、広報・病院施設、出版、財務委員会
- 13:00~ WSM評議員報告 WSM、AOSM等の活動についての報告
- 13:30~ 地域報告 後期評議員の地域現状報告(テーマに基づいた)
- 15:40~ シェアリングセッション(議事委員会)
- 19:00~ 第5回全体会議 委員会報告、提案、勧告等の審議

2008年2月11日

- 09:00~ 第6回全体会議 委員会報告、提案、勧告等の審議
- 13:00~ 第7回全体会議 委員会報告、提案、勧告等の審議
- 15:00 終了

速報！メンバーシップサーベイ

2007

常任理事会広報・病院・施設委員会が評議会勧告を受けて実施したメンバーシップサーベイ2007は、全国のグループ・メンバーの協力で興味あるデータが集計できました。集計に携わったボランティアメンバーに心から感謝をしています。

このメンバーシップサーベイはAAの概略をAA内外に広報するため、前回、前々回との比較からAAの動向や傾向などを捉え、さらなるAAの目的達成に活用されることになり

ます。もちろんAAはメンバーについて調査をすることはしないので、この数字がAAのすべてを表わしているわけではないこともご承知ください。

今回のアンケート回収は各グループ・メンバーに送料のご負担をお願いしたことで、回収率が低下する懸念がありましたが、前回とほぼ同数の1783通の回答が寄せられました。有り難うございました。

以下に主な数字を掲載いたします。

メンバー数	()内は2004年MSS		
北海道	5.6%(7.1%)	東北	8.2%(8.0%)
関東甲信越	46.5%(40.7%)		
中部北陸	8.7%(8.8%)		
関西	12.2%(12.9%)		
中四国	5.4%(5.0%)		
九州・沖縄	12.5%(16.0%)		
性別			
男性	74.1%(77.7%)	女性	25.2%(21.0%)
不明	0.7%(1.3%)		
年齢			
平均年齢	50.3%(49.6%)	最年少	19歳(20歳)
		最年長	83歳(80歳)
ソーパー期間	「1ヶ月未満を0.5ヶ月で計算」		
	5年2.4ヶ月	(4年7.9ヶ月)	
ミーティング回数	「/週」	3.5回	(3.4回)
スポンサー	いる	49.5%(45.8%)	
	いない	49.1%(52.1%)	
	不明	1.3%(2.1%)	
スポンサーをしている		19.8%(17.2%)	
ホームグループを持っている		87.2%(83.9%)	

今年度は数字をまとめたものをできるだけ早くグループにお届けするため、日本ニューズレター当号で広報することにしました。来年にはリーフレットを発効したいと考えています。

ニューズレター1号には『AA日本ニューズレター発刊に当たって、AAサービスの窓口である各委員会の活動状況を中心に報道し、全国各地域のメンバーに情報を提供することで、仲間一人ひとりの活動をお手伝いすること。と共に行政や医療を初め関係各位に、AAへのご理解を一層深めて頂きたいと願第1号をお送りする。 広報委員会』とあります。この事を念頭に置きこれからの紙面作りに努力する所存であります。 編集ボランティア同

編集・発行

NPO法人 AA日本ゼネラルサービスオフィス(JSO)
〒171-0014 東京都豊島区池袋4-17-10 土屋ビル4F
Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419
(月 金) 10:00-18:00 (土・日・祝)休
<http://www.aajapan.org> aa-jso@cam.hi-ho.ne.jp

